

# 特殊健康診断

## 1. 特殊健康診断の所見率

### ①じん肺健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しています。1/1以上の有所見率は0.21%であり、各管理区分に大きな変化を認めません。  
厚生労働省の有所見者率(令和4年度)は0.3%です。

対象物質	受診者数	管理区分(小陰影区分)											
		0/-	0/0	0/1	1/0	1/1	1/2	2/1	2/2	2/3	3/2	3/3	3/+
じん肺	7,660	1	7,629	8	6	3	4	3	6	0	0	0	0
	比率	0.01%	99.60%	0.10%	0.08%	0.04%	0.05%	0.04%	0.08%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

### ②有機溶剤健康診断

■各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
有機溶剤	43,940	33,673	716	0	0	30	8,425	1,096
	比率	76.63%	1.63%	0.00%	0.00%	0.07%	19.17%	2.49%

### ③鉛健康診断

■各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
鉛	2,656	2,045	0	0	0	0	561	50
	比率	77.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	21.12%	1.88%

### ④特定化学物質等健康診断

■各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	※延べ受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
特定化学物質	67,827	52,258	1,700	2	0	29	12,658	1,180
	比率	77.05%	2.51%	0.00%	0.00%	0.04%	18.66%	1.74%

※個人で複数の化学物質対象がある為、延べ受診者数で表記しています。

## 特殊健康診断

### ⑤石綿健康診断

■前年に比べ受診者数はほぼ同数であり、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
石綿	3,941	2,293	0	7	0	0	1,530	111
	比率	58.18%	0.00%	0.18%	0.00%	0.00%	38.82%	2.82%

### ⑥電離放射線健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
電離放射線	9,481	6,787	491	5	0	34	1,886	278
	比率	71.59%	5.18%	0.05%	0.00%	0.36%	19.89%	2.93%

### ⑦酸等取扱い者の歯科健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しており、厚生労働省からの受診勧奨の影響が推測されます。各管理区分の内訳は、1が減少し、2・3・4が増加する結果となりました。

健康診断名	受診者数	管理区分				
		特別	1	2	3	4
歯科	5,882	8	1,296	4,534	35	15
	比率	0.14%	22.03%	77.08%	0.60%	0.26%

管理区分	症状区分
特別	特別な措置を要するもの(令22条関連)
1	特別の所見のないもの
2	軽度の措置を必要とする
3	急な措置を必要とするもの
4	咀嚼や発音の回復のための補綴を要する

## 2.指導勧奨による健康診断の所見率

### 紫外線・赤外線業務従事者健康診断

■前年に比べ受診者数はほぼ同数であるものの、T0が減少する結果となりました。

健康診断名	受診数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
紫外線・赤外線業務従事者	2,997	2,409	4	2	0	0	6	576
	比率	80.38%	0.13%	0.07%	0.00%	0.00%	0.20%	19.22%

### 騒音作業健康診断

■各管理区分の内訳は、AとB2が増加する結果となりました。これは2022年1月より、新ガイドラインへの対応のため、評価基準が変更になった影響が推察されます。

健康診断名	受診者数	管理区分								
		A	A'	B'	B1	B2	C	R	T	T0
騒音作業	13,197	4,830	4,168	2,130	403	859	457	0	103	247
	比率	36.60%	31.58%	16.14%	3.05%	6.51%	3.46%	0.00%	0.78%	1.87%

T:聴力検査の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合、または異常が認められる場合(管理 Rに属するものを除く)  
T0:当該因子以外の原因と考えられる異常を一部に認めるが、直ちに治療等を必要としないもの

### 情報機器作業健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しており、各管理区分の内訳はAが減少し、T0が増加する結果となりました。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	B3	C	T	T0
情報機器作業	10,575	6,107	750	582	0	0	941	2,195
	比率	57.75%	7.09%	5.50%	0.00%	0.00%	8.90%	20.76%